

千本桜展 2.0

—桜京の夢—

桜京消失から 30 年

千本桜 × 万田坑

2024年 1月 20(土) - 28(日)

受付 ▶ 万田坑ステーション 9:30-16:30
入場料 ▶ 大人 410円 高校生 310円
小・中学生 210円 幼児無料 (22月)は休館日)

夜間特別展示 17:00-20:00

1月 20(土)/21(日)/26(金)/27(土)/28(日)

入場料 ▶ 高校生以上 1000円 小・中学生 500円
幼児無料

※千本桜 × 万田坑オリジナル商品の販売もおこなっています
当イベントに関するお問合せはへり旅推進協議会まで
お問合せ先: heritabi1225@gmail.com

三池炭 万田坑



三池炭鉱の坑口の一つとして明治から昭和初期にかけて上質な石炭を生産。日本の近代化を支えた施設。レンガ造りの重厚な建物や、炭鉱マンたちが地底と地上を行き来した坑口、巨大な機械が残された機械室などが見学できる。平成 27年 7月に「明治日本の産業革命遺産」の構成資産の一つとして世界遺産に登録された。

- ・JR 荒尾駅から車で約 10 分
- ・万田西交差点から東へ、県道 29 号線を約 2km(車で約 5 分)
- ・バス「万田公園前」下車徒歩で約 5 分



万田坑ステーション
〒864-0001 熊本県荒尾市原万田 200-2

▶▶ ルートマップ ▶▶



1 正門 - 第一豎坑 - 選炭場 桜京消失

二度にわたる「大正凶変」により、桜京は、町のすべてを焼失します。廃墟となった帝都の30年後をイメージした展示演出を行なうエリアです。ところどころにかつての面影を見つけることができます。週末は、このエリアで夜間ライトアップを行ないます。

2 炭鉱電車 駅舎の記憶

在りし日の桜京駅のバックヤードをイメージしたエリアです。桜京駅の面影や、当時の時刻表などを探してみてください。なお、展示されている炭鉱電車は、1917年製と1937年製の実際に使われていたものです。

3 第二豎坑坑口 舞の記憶

「第二豎坑坑口」に進み、初音未来の舞をご鑑賞ください。日本初公開となる、桜吹雪の中で千本桜を舞う初音未来の映像がご覧になれます。

4 職場 物語再生

時間を30年前に巻き戻し、未来たちが活躍していた当時の様子を多数のイラストで振り返ります。建屋の中央には、新たな千本桜が芽吹き、再生への予感を感じさせてくれます。今回の展示のメイン会場となります。

5 第二豎坑巻揚機室 大団円

最後は大団円。炭鉱見学ではしゃいでいる未来たちと、ぜひ一緒に写真に収まってください。

コンセプト

桜京は、楽曲・千本桜をノベライズした「小説千本桜」に登場する架空の都市で、大正時代が永遠に続くパラレルワールドの町という設定です。そこでは、城壁に囲まれた空間に大勢の人々が暮らしています。町の中心部には桜の花が一年中咲いている桜の大木があり、人々はこの桜木を「千本桜」と親しみを込めて呼んでいました。

この桜京の町は、「影憑き」と呼ばれる謎の魔物たちに度々襲われていました。初音ミクたちは学園生活を送りながら、一方で学徒兵として、この町＝帝都桜京とそこに住む人々を守るために、影憑きとの戦いの任務に就いていました。しかしながら「大正凶変」という強大な「敵」の前に、初音ミクたちの奮闘も空しく、桜京はあえなく焼失。町は廃墟と化します。

この展示会は、桜京消失から30年後という見立てで作りました。かつては多くの人々が往来した桜京の町。人々の喧噪と桜舞う風景を想像しながらご鑑賞いただければと思います。きっとその喧噪は、万田坑と荒尾の街の記憶に呼応していくはずです。

初音ミクとは

クリプトン・フューチャー・メディア株式会社が開発した、歌詞とメロディーを入力して誰でも歌を歌わせることができる「ソフトウェア」です。大勢のクリエイターが「初音ミク」で音楽を作り、インターネット上に投稿したことで一躍ムーブメントとなりました。「キャラクター」としても注目を集め、今ではバーチャル・シンガーとしてグッズ展開やライブを行なうなど多方面で活躍するようになり、人気は世界中に広がっています。

※「鐘音リン」「鐘音レン」「巡音ルカ」「MEIKO」「KAITO」もクリプトン・フューチャー・メディア株式会社が展開するバーチャル・シンガーです。

千本桜とは

『千本桜』は2011年9月17日に投稿された初音ミクが歌う「黒うさP」の代表曲。レトロな雰囲気が溢れる世界観、一度聴くだけで歌い出しくなるメロディ、そしてこの世界を細部まで描いたイラストを使った動画でたちまち人気楽曲となりました。有名アーティストによるカバーも多数、2015年の紅白歌合戦では小林幸子さんが同曲の歌唱を披露しました。また、イラストを手がけた一斗まる氏が2013年から執筆した「小説千本桜」シリーズは累計35万部を超えるヒット作品となり、「小説千本桜」の世界観を元にしたコミック、ミュージカル作品、超歌舞伎も上演されるなど、一楽曲の枠を越えて広く愛される作品となっています。

